

令和5年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報 告 地 区：留萌地区
- 2 事例報告学校名：増毛町立増毛小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 安 居 和
- 4 キーワード：専科教員の活用、組織的な授業改善、体育の授業改善と体力向上の取組

1 はじめに

本校は留萌管内南部の日本海側沿岸に位置し、今年で145周年を迎える。町の歴史は古く、町内には北海道遺産に選定されたレトロな建物が立ち並び、古き良き時代の面影を残している。特産物は果物が有名で、豊富な水産資源にも恵まれている。暑寒別岳を抱え、良質な水を利用して酒造も行われており、日本最北にある造り酒屋である國稀酒造は、明治時代から続いている。昭和33年には1,114人だった児童数は年々減少し、町内に複数あった複式校との統廃合が進み、現在は小学校1校、中学校1校のみとなり、本校の児童数は129名である。

今年度の本校の重点目標は【「知」・「心」・「体」をつなぎ、自他が関わり合い、自己の成長を実感できる教育活動の推進】である。ここでは主に、本校の授業改善に関する取組をいくつか紹介する。

2 国語専科教員を中心とした全校での取組

本校では、国語専科教員が配置されており、国語科の授業実践の他に、「語彙力UPプロジェクト」を継続して実施している。ICTを効果的に活用した授業づくりの他、漢字学習の工夫、図書室の特設コーナーの設置、言葉に関するカードゲームの推奨など様々な方法で全校統一した取組を進めている。辞書をとにかくどんどん読み進めるという「読辞書活動」は好評で、児童の主体的な取組となっている。

また、学校と家庭が協力して国語の力を伸ばすことができるように、保護者向け国語通信「言の芽」を発行し、児童の様子や国語科で目指していることを知らせたり、家庭での取組や協力を促したりしている。あわせて、「読みタイム」での音読指導や全教職員による「読み聞かせ強化週間」を設定し、ICTを活用した読み聞かせやクイズ形式での読み聞かせなど、児童が興味をもって取り組めるよう創意工夫し、言語能力の育成に力を入れている。



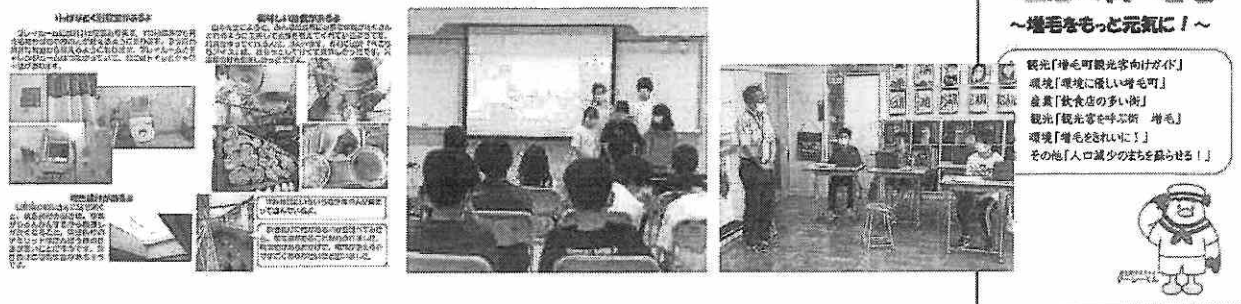
3 授業改善につなげる組織的な取組

全国学力・学習状況調査の結果の分析・考察を効果的に活用するための組織づくりを行い、改善に向けての具体的な取組に関して、国語科、算数科に加え、質問紙も含め改善ポイントを明確にし、全教職員で共通理解を図った。次に改善の方向性として、国語科は「言語活動を通して学びをアウトプットする学習に力を入れること」、算数科は「他者の数学的な考えをインプット（解釈）する場を設けること」の2項目を中心に取り組むこととし、研究担当者（国語専科）と学力向上CO.（教務）を中核に、「学力向上チーム」を組織した。

まずは、研究を担当している国語専科教員が国語科で改善ポイントを明確にした授業を構築し、その授業を全員で参観した。改善の方向性を踏まえ、他校との遠隔による交流授業を行ったり、外部への積極的な発信ということで役場職員に来校していただき、町の未来に関するパンフレットを

紹介したりするなどアウトプットの仕方を工夫した授業を提案した。この取組を全学級に広げ、算数科や他教科につながる改善ポイントを学ぶ機会とした。

また、「学力向上チーム」を中心に、アウトプットを意識した管内の学校とのオンライン学習を積極的に行い授業改善に取り組んだり、系統性や横断的な指導の在り方について学ぶ機会を多く設けたりして、組織的に授業力向上に取り組んでいる。



4 体育エキスパート教員を中核にした体育の授業改善

今年度から配置されている体育エキスパート教員の専門性を生かし、教員の体力向上に対する意識改革や体育の授業力向上、授業改善が図られるよう働き掛けるとともに、具体的な方策の共有を目指し、日々実践を積み重ねている。

昨年の新体力テストの分析結果や昨年度までの体育の授業の様子、児童・保護者アンケート結果をもとに、系統を意識した指導や児童が自己の伸びを実感できる体力の向上に取り組んでいる。

管内で長く経験と実績を積んできた体育エキスパート教員の指導は、複数体制での授業や全学年の発達段階を見通した実践、今までの体力向上の取組に工夫改善を加え、効果を上げている。

体育エキスパート教員と担任との事前打合せの実施や事後指導での的確なアドバイスにより、授業改善に対する意識を高め、児童の変容につなげていくことや昨年度までの活動に加え、児童が休み時間などを利用し、自主的に楽しく体を動かしたり、運動や体力向上について興味をもったりできるよう環境整備も進められている。

また、全校で「わくわく鉄棒タイム」や「ぴよんぴよん跳び箱タイム」「みんなで鬼ごっこ」「縄跳びチャレンジ」に取り組み、積極的に体力づくりの機会を設定している。

さらに、定期的に発行されている体育通信をより効果的に体力向上や授業改善につなげるため、体育エキスパート教員の専門的な知識や他校の好事例などを掲載している。



5 おわりに

本校では、専門性の高い教員の特長を生かし全体の指導力向上を図ったり、組織的に授業改善を進めたりした結果、少しずつではあるが成果として表れるようになった。これらの取組を通して、教職員の意識向上や児童の変容も見られている。

今後は、組織マネジメントをより生かし、さらに授業改善につなげるとともに、教職員の資質・能力の向上を図っていききたい。